

平成23年5月11日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役社長 金丸 勲

(JASDAQ・コード 8704)

問合せ先 財務部長兼総務部長 大浦 隆文

(TEL 03-5114-0344(代表))

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)決算において特別損失を計上するとともに、平成22年11月9日に公表いたしました平成23年3月期の連結・個別業績予想について修正することとしたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生について

(1) 本社移転費用(連結・個別)

本日発表「本店移転のお知らせ」のとおり、当社グループは、平成23年8月に本店移転を行う予定であります。これに伴い、現在、使用しております建物附属設備等の除却、撤去等による減損損失を、連結決算において64百万円、個別決算において9百万円を計上する見込みとなりました。

(2) 『GIT』サービス終了に伴う固定資産の減損(連結)

当社連結子会社であるトレイダーズ証券株式会社(以下、「トレイダーズ証券」といいます。)では、平成23年3月31日をもって、海外先物指数取引システム『GIT』のサービスを終了いたしました。これに伴い、同サービスに使用していたソフトウェアについて減損損失46百万円を計上する見込みとなりました。

(3) 顧客立替金回収(連結・個別)

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震後の株式相場の急落時に、日経225先物・オプション取引にかかる顧客の決済損に関し発生した顧客立替金のうち、回収不能あるいは早期での回収が困難と見なされる債権について、連結決算において貸倒引当金繰入額927百万円、個別決算において関係会社支援損927百万円を計上する見込みとなりました。

2. 連結業績予想の修正および修正理由

平成23年3月期通期連結(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,600	△680	△730	△720	△3,018円11銭
今回修正予想(B)	4,275	△942	△995	△2,005	△8,407円09銭
増減額(B-A)	△325	△262	△265	△1,285	—
増減率(%)	△7.1%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,679	△842	△883	△1,071	△4,491円01銭

連結営業収益は、前回予想を 325 百万円下回り 4,275 百万円となる見込みです。これは主に、平成 22 年 7 月に 트레이ダーズ証券が、株式会社EMCOM証券(平成 22 年 7 月 20 日付けで「株式会社 EMCOM CAPITAL」に商号変更)から承継した相対の外国為替証拠金取引サービス『みんなのFX』の営業収益が、前回予想時の計画数値を上回る水準で推移したのに対して、『みんなのFX』を除く外国為替取引事業および証券取引事業において、取引高増加のための営業施策が、当該事業者間の競争激化などにより奏功しなかったことにより、業績が低調に推移したことによるものであります。

連結営業損失は、当初予想を 262 百万円下回り 942 百万円、連結経常損失は、前回予想を 265 百万円下回り 995 百万円となる見込みです。これは主に、『みんなのFX』を除く既存事業における営業収益の下ぶれに加えて、EMCOM証券からの事業承継に伴い、『みんなのFX』における器具備品費を始めとする販売費及び一般管理費が前回予想を上回る水準で推移したことなどによるものであります。

連結当期純損失は、当初予想を 1,285 百万円下回り 2,005 百万円となる見込みです。これは、主に、経常損益の下ぶれに加えて、「1. 特別損失の発生について」のとおり、前回予想以降、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震後の株式相場の急落時に、日経 225 先物・オプション取引にかかる顧客の決済損に関し発生した立替金のうち、回収不能あるいは早期での回収が困難と見なされる債権について貸倒引当金繰入額 927 百万円、本店移転決定に伴い固定資産除却損 64 百万円、証券取引事業における海外先物指数取引サービス『GIT』の取扱を平成 23 年 3 月 31 日付で終了したことに伴い減損損失 46 百万円を各々特別損失として計上したことなどによるものであります。

3. 個別業績予想の修正および修正理由

平成23年3月期通期個別(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	440	△28	△45	△31	△129円95銭
今回修正予想(B)	388	△73	△95	△1,022	△4,286円79銭
増減額(B-A)	△52	△45	△50	△991	—
増減率(%)	11.8%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	274	△59	△65	△85	△356円42銭

個別営業収益は、前回予想を 52 百万円下回り 388 百万円となる見込みです。これは、子会社から収受する経営支援料を前回予想時の計画数値より減額したことによるものであります。

個別営業損失は、前回予想を 45 百万円下回り 73 百万円、個別経常損失は、前回予想を 50 百万円下回り 95 百万円となる見込みです。これは主に、営業収益の下ぶれによるものであります。

個別当期純損失は、前回予想を 991 百万円下回り 1,022 百万円となる見込みです。これは、主に、経常損益の下ぶれに加えて、「1. 特別損失の発生について」のとおり、前回予想以降、平成 23 年3月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震後の株式相場の急落時に、日経 225 先物・オプション取引にかかる顧客の決済損に関し発生した立替金のうち、回収不能あるいは早期での回収が困難と見なされる債権について関係会社支援損 927 百万円、本店移転決定に伴い減損損失9百万円を各々特別損失として計上したことなどによるものであります。

以上

ご注意:本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので、予めご了解ください。